

脳血管障害の緊急車両内 マイクロ波イメージング

1 研究開発の目的

くも膜下出血や脳梗塞などの脳血管障害は、迅速な診断と適切な治療が求められる。本研究開発では、これまで搬送先の病院で実施されていた基本診断を救急車両の搬送中に行い、治療可能な病院に患者を確実に搬送するとともに、受け入れ病院側で速やかな治療を開始できる準備を整えられるシステムを開発する。

2 研究開発の概要

申請者が取り組んでいるマイクロ波マンモグラフィの研究成果を頭部のイメージングに適用し、救急車内で得られた頭部断層画像を携帯電話網で複数の病院に伝送する基本技術を平成28年度までに開発する

3 期待される研究開発成果

治療可能な病院に確実に患者を搬送できる。受け入れ病院では患者の到着までに治療方針を立て、治療準備に入れるので、救命率、予後のQOLが向上し、高齢化社会における医療費の抑制に貢献できる。

